

1 諮問事項

- 1 公文書の集中管理の在り方
- 2 特定歴史公文書等の適切な保存及び市民利用の在り方
- 3 上記を満たすために必要とする適切な環境整備について
- 4 その他必要な事項

2 委員会の意見

- 1 公文書の集中管理を行うためには、**中間書庫**を設置し、一元管理する必要がある。
- 2 特定歴史公文書等の永久保存及び市民利用の推進を図るためには、**公文書館**を設置し、適切な環境で保管する必要がある。
- 3 中間書庫及び公文書館は、**一体的に整備**し、情報公開・利用請求への対応など市民の利便性を向上させる必要がある。

3 中間書庫・公文書館設置に関する視点



収納量

将来を見据えた文書量の収納に対応可能なスペースが確保できる。



リスク

保存文書を災害（水害、地震など）から完全に守ることができる。



運用

文書保管を適切環境（温湿度、防虫等）で一体的に保存することができる。



市民利用

必要とする文書が正確かつ迅速に提供できる。（情報公開・利用請求）

4 候補地一覧

No.	1	2	3	4
施設名	旧母子父子福祉センター	旧市民病院管理棟	旧東福祉保健センター	旧保健衛生研究所
所在地	中央区水前寺4丁目	東区湖東1丁目	東区錦ヶ丘	南区田井島3丁目
敷地面積（㎡）	1,401.39	13,014.86の一部	1,200程度	2,273.92
建築年	S59年度	H13年度	S53年度	S55年度
延床面積（㎡）	577.01	6,226.35	1,754.00	1,597.92
階数	2階	7階	2階	2階
用途地域	第2種中高層住居専用地域	近隣商業地域	近隣商業地域	市街化調整区域
外観・施設内				
No.	5	6	7	8
施設名	旧天明多目的農事研修所	旧雁回敬老園	北部上下水道センター	山鹿植木広域行政事務組合リサイクルプラザ
所在地	南区奥古閑町	南区富合町木原	北区下碓川2丁目	北区植木町轟
敷地面積（㎡）	1,715.00	4,687.11	4,091.00	14,515.98
建築年	S55年度	S57年度	H6年度	H14年度
延床面積（㎡）	468.80	1,651.23	752.60	1,043.60 3,653.59
階数	2階	2階、地下1階	1階	2階 6階、地下1階
用途地域	市街化調整区域	市街化調整区域	第1種中高層住居専用地域	市街化調整区域
外観・施設内				

前提条件

- 1 機能
- 2 収納棚
- 3 必要面積

中間書庫と歴史的公文書の保管、市民利用の機能は、**一体的な管理・運営**をすることを想定
面積あたりの収納量の多い**可動収納棚**に箱ごと収納することを想定

- ① 現在約8万箱の文書量の推移や災害発生等による突発的な増加の可能性を踏まえ、**合計10万箱**を収納する書庫を想定
- ② 文書保管に必要な床面積：**6,200㎡** 積載荷重：**11,800N/㎡（1N＝約0.1kg）**
天井高さ約2.8mと想定
- ③ 収納以外に必要な機能（事務室・展示室等）の床面積を約**1,000㎡**と想定

合計床面積 7,200㎡

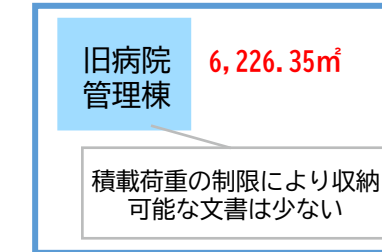
中間書庫及び公文書館設置に関する視点により、既存の8施設から「**2 旧市民病院管理棟**」、「**8 リサイクルプラザ**」の2施設に絞り込み、比較検討を行った。

2	旧市民病院管理棟						
基本事項	所在地	東区湖東1丁目					
	建物の用途	病院					
	敷地面積	13,014.86㎡					
	建物の建築年	H13年度					
	建物の延床面積	6,226.35㎡					
	建物の階数	地上7階建					
都市計画	用途地域	近隣商業地域	熊本市ハザードマップによるリスク	水害	土砂災害	液状化	
	建蔽率	80%		あり	なし	かなり低い	
	容積率	300%					
	高さ制限	道路斜線：勾配1.5 隣地斜線：H=31、勾配2.5					
	建築可能面積	19,522.29㎡（敷地面積の1/2 6,507.43㎡の場合）					
収納量	耐荷重	居室・病院：1,800N/㎡	建物の利用等	既存建物を利用			
	想定積載荷重 11,800N/㎡との割合	1/6.6倍		延床面積が不足（6226.35㎡<7200㎡）			
市民利用	公共交通機関	市電 神水交差点下車徒歩約3分 バス（K-1：桜町バスターミナル～木山産交）他 湖東1丁目下車徒歩1分		A 既存建物活用 （改修＋増築）		1階の1,200㎡を市民利用 2階～7階の5,000㎡を書庫（9,840箱） ＋ 増築5,635㎡を書庫（90,160箱）	
	公共施設からの距離	東区役所：2.2km 動植物園：0.9km 熊本市市民病院：2.7km		B 建替え （既存撤去＋新築）		既存建物を解体、撤去 敷地面積の1/2を活用し、2～3階建新築 7,200㎡を市民利用＋書庫（100,000箱）	

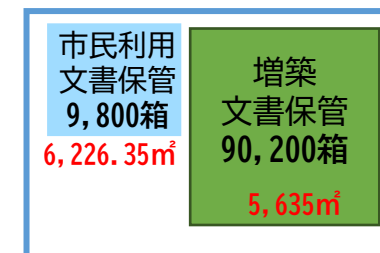
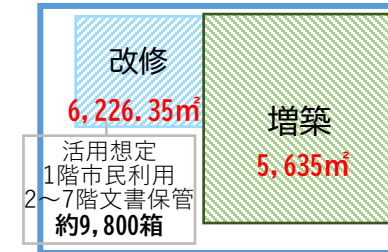
旧市民病院管理棟のメリット、デメリット

- バス、市電等の便数が多い。
- 交通アクセスが良い。
- 周辺環境が優れており、様々な用途での活用が期待できる。
- 設備（特別高圧受変電設備・冷暖房空調装置・医療用ガス等設備・スプリンクラー・既存エレベーター・水道等）の状況を把握し、撤去又は更新等の対応が不可欠である。
- 耐荷重の不足により、収納できる文書量は少ないため建物の増築が必要である。

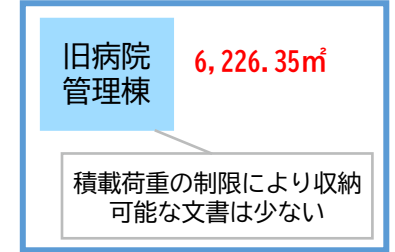
A 既存建物活用



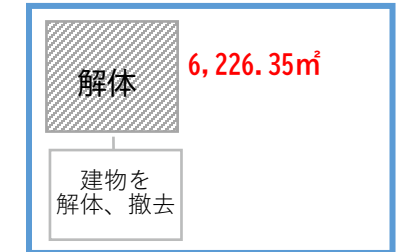
- 管理棟を改修し、市民利用と文書保管に利用する
- 不足文書分を保管する建物を増築する



B 建替え



- 管理棟を解体、撤去し、市民利用と文書保管の機能を備えた建物を新築する

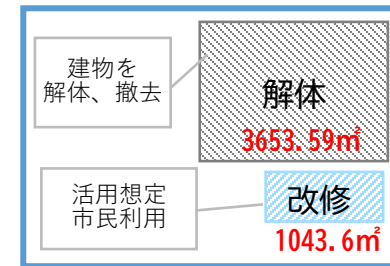


8	山鹿植木広域行政事務組合リサイクルプラザ				
基本事項	所在地	北区植木町轟			
	建物の用途	リサイクルプラザ			
	敷地面積	14,515.98㎡			
	建物の建築年	H14年度			
	建物の延床面積	管理棟：1,043.6㎡ 工場棟：3,653.59㎡			
	建物の階数	地上2階、地上6階地下1階（確認申請）			
都市計画	用途地域	市街化調整区域	熊本市ハザードマップによるリスク	水害	土砂災害
	建蔽率	要調整		なし	なし
	容積率	要調整		かなり低い	
	高さ制限	要調整			
	建築可能面積	要調整			
収納量	耐荷重	事務所：2,900N/㎡	建物の利用等	既存建物を利用	延床面積が不足（1,043.6㎡+3,653.59㎡<7200㎡）
	想定積載荷重 11,800N/㎡との割合	1/4.1倍		A 既存建物活用 （改修+増築）	管理棟は改修し、1,043.60㎡を市民利用 工場棟は階高が高く保存棚の設置が少ないため、解体、撤去 増築6,200㎡を書庫（100,000箱）
市民利用	公共交通機関	バス（U2-1：桜町バスターミナル～植木駐車場方面） 七本下車徒歩約3分 JR 鹿児島本線 田原坂駅下車徒歩約18分		B 建替え （既存撤去+新築）	既存建物を解体、撤去 1～2階建新築7,200㎡を市民利用+書庫 （100,000箱）
	公共施設からの距離	北区役所：3.0km 田原坂西南戦争資料館：1.8km			

A 既存建物活用



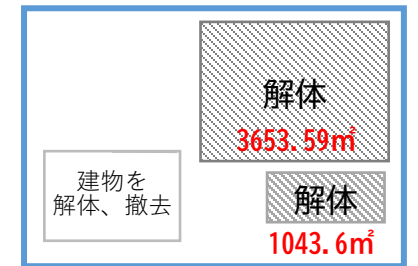
- 管理棟は改修
- 工場棟は解体、撤去し、
文書保管に適した建物を新築する



B 建替え



- 管理棟、工場棟を解体、撤去し、
市民利用と文書保管の機能を
備えた建物を新築する



山鹿植木広域行政事務組合リサイクルプラザのメリット、デメリット

- 将来の公文書の増加を見据え、増築や建替に対応可能な敷地面積が確保できる。
- 田原坂公園、田原坂西南戦争資料館が近くにあり、公文書館と一体的に歴史を学ぶ場として活用できる。
- 市街化調整区域（集落内開発制度指定区域）であるため、活用する用途の範囲が限られている。
（※公共施設は除外される）
- 管理棟は、漏水（雨漏り）している箇所があり、改修が必要である。
- 工場棟は、床が少ないため収納量の確保が困難であり、天井が高いため温湿度の管理にコストがかかるので解体が必要。

5 概算費用、視点ごとの比較

費用算出の前提条件

- ※1 ●増築費・新築費については、**380,000円/㎡**（福岡共同公文書館の㎡単価（約340,000円）×1.1）を使用（注）近年の物価高騰は見込んでいない
●改修費については、**342,000円/㎡**（内装及び設備部分のみの工事であるため、新築工事費単価を228,000円/㎡（新築費の㎡単価（380,000円）×60%）とし、既設の内装及び設備等の撤去費用+新設工事費（228,000円/㎡×150%））を使用
●解体費用は、**60,000円/㎡**（JBCI建設物価調査会による㎡単価）を使用
●リサイクルプラザの解体費用は、本市の負担額が別途見込まれる

- ※2 旧市民病院管理棟の土地の所管替費については、敷地面積の1/2を路線価で積算、建物の所管替費については、現時点で未定
※3 リサイクルプラザの所管替費（土地及び建物）については、市の支出は不要（無償譲渡予定）だが、解体費用については、本市の負担額が別途見込まれる
■ 下記には、可動書架、文書移転費用、システム整備費、調査費用（地盤調査等）の費用は含まれていません。

旧市民病院管理棟		
既存施設を活用		全面建替え
工事費※1	増築費、改修費	新築費、解体費
	約43億円	約31億円
所管替費	土地	約6.5億円※2
	建物	約6.5億円※2
合計		約38億円 +建物の所管替費

山鹿植木広域行政事務組合 リサイクルプラザ		
既存施設を活用		全面建替え
工事費※1	増築費、改修費	新築費
	約28億円	約29億円
所管替費	土地	なし※3
	建物	なし※3
合計		約28億円

視点ごとの比較

視点／施設名		旧市民病院管理棟	山鹿植木広域行政事務組合 リサイクルプラザ
収納量		増築又は建替で可	増築又は建替で可
熊本市ハザードマップによるリスク		あり	なし
運用 （敷地利用、接道幅員）		良	良
市民利用	交通の便	バス(多)・市電(多)	バス(少)・JR(中)
	利用の便 (各区役所から)	東(2.2km)	北(3.0km)
既存活用 / 建替	既存活用	既存+増築で可	既存+増築で可
	建替	可	可 (調整区域)
設備・環境		既存設備改修(大)	建替時に対応
コスト		所管替費+工事費	工事費
総合評価		○	◎

6 公文書等管理委員会における審議、検討結果まとめ

両施設を比較すると…

- 1 収納量、運用の視点では、**両施設とも同等**である。
- 2 リスクの視点では、リサイクルプラザで想定される災害（水害、地震など）の**リスクはない**。
- 3 市民利用の視点では、旧市民病院管理棟の方が**交通の便が良い**。
- 4 コスト面では、既存施設を活用、全面建替えのいずれの場合もリサイクルプラザが**少額**である。

その他考慮した要因は…

- ◆リサイクルプラザは、将来の公文書の増加を見据えた増築や建替が可能な**敷地面積の確保**が可能である。
- ◆職員や市民の利便性の確保については、**サテライト窓口**の設置、**デジタル技術**を活用した**閲覧、資料提供等**により対応可能である。
- ◆旧市民病院管理棟は、立地条件（交通、周辺状況等）が優れているため、**土地利用価値が高い**。

左記のような公文書等管理委員会における審議、検討の結果、**公文書館等の設置にはリサイクルプラザが適している**との考えであった。

6 方針（案）

熊本市公文書等管理委員会の答申及び本市の方針

公文書等管理委員会の答申

「⑧山鹿植木広域事務組合リサイクルプラザ」は、将来の公文書の増加を見据えた増築や建替が可能な敷地面積を確保でき、自然災害のリスクや被災する危険性が少ないことなどから、公文書館等の設置場所に適していると考えます。
(答申書原文のまま)

本市の検討

答申を踏まえた本市の検討において、リサイクルプラザは①リスク面、コスト面での比較において優位であること、②市民等の利便性は、サテライト窓口の設置やデジタル技術を活用した閲覧、資料提供等により補完できることから、公文書等管理委員会と同様の結論となった。

リサイクルプラザが
公文書館等の設置場所として
最も適している

公文書館の設置に
適している場所として、

山鹿植木広域行政
事務組合
リサイクルプラザ

を選定。

方針

半導体関連産業（TSMC等）の集積に向けた本市の産業用地整備方針

企業の動向調査結果を踏まえて策定された**産業用地整備方針**における、受入用地確保に向けた今後の方向性を確認。

本市の方針

①高速道路IC・SICから概ね半径1km圏内、既存工業団地や工場等集積地の隣接地等のエリアに企業を集積する。（図①）

②官民連携で工業団地を整備する。



リサイクルプラザは、
企業（TSMC等）の
集積エリアではない

7 令和5年度の取組

「公文書館設置基本計画」の策定（17,000千円）

本市が目指す公文書館の在り方について、令和5年度に基本計画を策定し、適正な公文書管理を図る。

目指す公文書館の在り方

- ◆歴史的に重要な公文書等を適切な環境の下で保管し、**永久保存**する
- ◆公文書は**中間書庫で一元管理**し、検索性を向上する
- ◆歴史資料の公開や利用請求に対応し、市民の皆様の**利便性を向上**する
- ◆**専門職員**を配置し、特定歴史公文書の選別など適正管理を図る

公文書館設置基本計画の内容

- 公文書館・中間書庫の基本要件（構造や設備）の整理
- デジタル技術を活用した公文書及び特定歴史公文書等の管理、活用の検討
- 基本的な方向性を踏まえた施設計画図の作成及び費用の算出
- 全体の事業スケジュールの検討 等

